

たいにい・ぼっくすつうしん

Vol.98

令和5年
5月15日

転換期の日常の手本となり

厚生労働省は、3月13日、マスクの着用は個人の判断を重視すると報道機関等を通じて周知し、5月8日、新型コロナウイルスは「5類感染症」に引き下げました。花粉症持ちでそもそもマスクを外すことができない人が多くいると推測されるなか、新学期が始まり学校のお迎えにいくと、少数ではありますがマスクを外している先生を見かける様になり、ゴールデンウィークの外出先では、明らかにマスクの着用者が減少していると感じられました。

初めは抵抗感のあったマスク生活ですが、今では欠かせない感覚が根づきました。また、メディアのインタビューでは老若男女問わず、「マスクを自分だけ外すのは恥ずかしさがある」「外していると、他人の目が気になる」など、感染症予防に関わらないところで、マスクを着用していきたい気持ちがあると声を揃えます。周りの様子を窺いながら、「みんながそうしているから、いいのかな？だめなのかな？」と、自身の行動を定めるのは、養ってきた社会性や集団心理が働くからです。子どもたちは、周りの様子を窺うことで、マスクの脱着を判断している状態です。必要に応じてのマスクの脱着判断が困難であることを認識し、大人が手本となり、日常の環境をつくることに努めなければなりません。

日常的なマスク生活の終わりを迎え、これから暑さを感じる季節がやってきます。ウイルス性疾患はもちろんのこと、食中毒、熱中症などあらゆる面で子どもの健康を守った事業所運営を担ってまいります。

たいにい
のようす

写真掲載欄のため、内容を削除しております。

第4回 たいにい・ぼっくす茶話会

日時：6月4日(日)10:30～
 資料：夏季長期休暇について等
 場所：たいにい・ぼっくす あさひ
 参加者：法人事業所を利用中
 または利用していた保護者
 ※過去の資料が欲しい方はさしあげ
 ますのでお声かけ下さい。

6月の予定 季節の製作活動、他

6月 休業日
 3日4日
 10日11日
 17日18日
 24日25日

